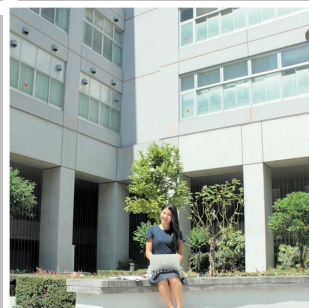
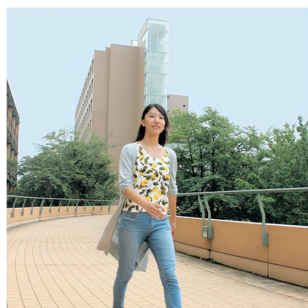


# 国際系大学

## 完全ガイド

2017年版



[www.tofl.jp](http://www.tofl.jp) トフルゼミナール

# 早稲田大学 国際教養学部

School of International Liberal Studies

「広がる世界」



## Voice

## 野間 恵理佳さん

国際教養学部  
2年生

## 国際系カラーと早稲田カラー

早稲田大学国際教養学部（SILS）に入学する前と後では持っていたイメージは変わりましたか。

入学する前は、とにかく国際系のイメージを持っていました。それは間違っていないかたんですが、同じくらい早稲田大学の伝統的なカラーというものも強くありましたね。それから、勉強がとんでもなく大変なイメージがありましたが、勉強以外のことが何もできない！という感じでもないですね。今の生活は、勉強4、つきあい3、バイト3っていう感じですから。

学部での公用語は英語ですよ。

ほぼ英語です。英語の授業が大半だし、オフィシャルなお知らせ、メールなども英語。オープン科目や他学部の日本語で行われる授業も取れるので、そこで使用する言語は日本語になりますが、日常生活については英語だけ話しているグループとそうでないグループに分かれるかもしれませんね。

どんな授業を取れるんですか。

授業には大きく分けて3つのグループがあります。

まず、国際教養学部が提供している授業。これには英語力をつけるための必修科目が含まれます。次にグローバル・エデュケーション・センターなどが提供しているオープン科目。これはグローバル社会でリーダーになるための資質を磨く授業、といった感じでしょうか。最後に他学部が開放している科目。これがあるの

で、国際教養学部にながら政治経済を多めに勉強しよう、といったことができるわけです。

全体的にとっても自由度の高いカリキュラムだと思います。必修はもちろん取らなければなりません、あとの組み合わせは自分の志向によって組んでいけます。

なるほど。では国際教養学部の必修授業について教えてもらえますか。

まず英語のWritingです。クラスが3段階に分かれていて、入学時の英語のテスト結果によってレベルが違います。1クラスは15人くらいと少人数で、英語のアカデミックライティングの基礎を全部教えてくれます。あらかじめ配付された記事などを元に書いていくようなスタイルですね。それまで1000 wordsを越える量をあまり書いたことがなかったのが大変でした。

次に統計のクラスを取ります。確率とか比例反比例についてなどですね。これは先々の研究のために事象の取り扱いを学ぶわけです。

また1年の最初はゼミが2つあって、1st yearセミナーのIAとIB。IAが日本語の授業で、IBが英語の授業です。日本語のIAは、SILSには日本語が英語よりも苦手な子たちも多いですから、学术论文を読んだりするための日本語力をつけましょう、といったクラスですね。

英語のIBはリサーチとプレゼンが中心です。レクチャー形式ではなくディスカッション主体で、これから本格的に英語の授業を受けていくにあたっての基礎体力作りですね。

とにかく先生が  
すごい人たちばかり

いままで取ってきた授業の中で印象に残っているものを教えてください。国際教養学部の授業でもオープン科目でも他学部の授業でもかまいません。

Pacific Perspectives of Globalizationというクラスは印象に残っていますね。サモア出身の先生が、現地でのアメリカの核実験についてお話してくれました。それから、元ニューヨークタイムスのジャーナリストだった先生の授業では、周りの反対を押し切って北朝鮮に取材に行ったときの事例を話してくださったり。他にも、国連で働いていた教授もいらっしゃいました。

変わったところでは、オペラのプラクティカルコースというのもあって、みんなの前で歌うんですよ。これもイタリアではマエストロといわれる先生ですね。

力になったという点では英語の交渉術の授業がありました。異なる2つの会社に分かれて英語での交渉をロールプレイング形式で学びました。これは他の大学ではちょっと受けられないんじゃないですかね。

とにかく、どの授業も先生がすごい方々ばかりなんですよ。





■ 課題が多いようですが、テストもあるのですか。

ええと、まずFLAは2学期制です。そして1学期のうちにミッドタームとファイナルという2つのテストがあります。ただ、テストではなくてペーパーの提出で代用しているクラスも多いようです。まあ、いずれにせよミッドタームとファイナルの時期は大変です。

■ FLAの授業のいいところってどこですか。

ほぼすべてのクラスが少人数制なんです。だから授業中に皆が積極的に発言する。先生に反論するような学生もたくさんいるし、知識が多く意識も高い人が多い。授業中に発言しない人なんていませんよ。授業が終わったらすぐに先生の前に列ができて質問してます。あと、凄い経歴の教授が多いです。でも距離がすごく近い。わからないことがあったらメールできるシステムもあります。

### 欧米圏からの留学生が多い

■ どんな学生がいるのですか。

いろいろなバックグラウンドを持った人がいますね。帰国子女とか1年の留学経験がある人とか。もちろん私のような純ジャパも。皆ものすごく勉強熱心です。もちろん遊ぶ人もいますが、そのぶんすごく勉強する。授業をさぼったりなんか絶対しないし課題もちゃんとやる。

意識の高い人が集まっていて、1年なのに大学のプログラムで途上国に行く人もいますし、自分たちでグループをつくってネパールでボランティアしてるような人達もいる。そういう人達を見ていると、課題とかきつくなって寝ちゃおうかなと思って、頑張ろうと思える。

あと、海外からの留学生も多いですね。欧米圏からの留学生が一番多くて、これは結構珍しいと言われます。他大の国際系はどこともアジア圏からの留学生が多いという話ですから…。留学生とはサークルが一緒だったりクラスが一緒だったりしますから、ごく普通に交流してますよ。

■ 在学中に留学する人はいますか。

多いですよ。上智大学が持っている協定大学はものすごい数だし、FLAに入学できた時点でTOEFL Testのハイスコアは持っているから、選抜試験をパスして留学できてしまう。ただ、そもそもFLA自体が100%英語の環境だから、あえて海外に留学しなくてもいいや、っていう人達も多いんですよ。

■ FLAでよかったと思ったことはありますか。

国際系の中でも伝統があるところですから、いろいろな人に会うことができました。FLAのOBやOGの方で、世界銀行にお勤めの方やILO(国際労働機関)の方とお話できたりし

ました。そういう体験を通して、自分の未来の選択肢が広がったように思います。以前は、将来とか未来とかに対して漠然と不安しかなかったけど、頑張って知識を広げて行けばなんでもできると感じられるようになりました。

あとは…、あ、FLAの人しか着られないジャケットがあります(笑)。公式のものではないけど、何年もずっと作られているもので、可愛いです。これ着ていると誇らしいですね。

(右ページ参照)

■ どんな人がFLAに向いていますか。

「世界に行きたい」っていう人。英語が好きでいろいろなことに興味があっても、まだ対象が決めていないという人。リベラルアーツのシステムが向くと思います。

■ では最後に高校生の皆さんにメッセージをお願いします。

私はFLAで、自分を発信していくことの大切さに気付いたし、勉強すれば全部力になってくれることもわかったし、内面的に成長できました。ここは「まわりと一緒になければ…」ってところが全然ない。そもそも、皆のバックグラウンドがひとり一人違うから、逆に皆の個性が光る場所です。ぜひ来てください。



# Information

大学情報

## 国際教育のパイオニア

上智大学国際教養学部は、大学の教育理念に基づき「国際的な教養を持つ人材」「国際社会で活躍する人材」を育成することを目的とした学部です。外国での教育を受けた学生や留学生を含め、多様な学生が在籍するこの学部では、共通言語として英語ですべての授業が行われ、日本の一般的な履修制度にとらわれない科目選択のスタイルを採り入れるなど、国際教育のパイオニアとして長年に渡り国際系大学を牽引し続けています。

## 国際色豊かな環境

学部ではさまざまなバックグラウンドを持つ学生が共に学んでいます。海外からの留学生も多く、毎年学部全体の30%が欧米圏をはじめとした各国からの学生で、彼らと同じ環境で学んでいくことになります。

## 徹底した少人数教育

上智大学自体の魅力のひとつに徹底した少人数教育がありますが、国際教養学部の場合はそれが顕著です。15～20名の授業が多くを占めており、中には10名以下の授業もあります。

# Data

入試情報

## 公募制と書類選考

上智大学国際教養学部の入試は大きく分けて2種類あります。学科試験および面接を含む推薦入学試験（公募制）と書類選考入試です。

入学時期は、日本国内のインターナショナルスクールや海外教育機関のスケジュールが考慮されており、4月と9月の年2回用意されています。

（入試情報はすべて2017年度入試を参考にしています）。

### 1 推薦入学試験(公募制)

▽募集人数：38名

▽出願・試験時期：Web出願(10月上旬～11月初旬)・書類提出(11月初旬締切)・試験日(11月下旬)・合否発表(12月上旬)

▽出願資格：

①2017年3月に日本の教育制度に基づく高等学校を卒業見込みの者で、本学を第一志望とし、入学を確約できる者。志望動機が適切であり、当該学科での履修能力があると認められる者。

②学科の指定する評定平均値(4.0以上)を在学全期間を通じて満たす者。

③学科の指定する外国語検定試験のいずれかの基準(TOEFL iBT Test 79点以上、IELTS 6.0以上、TEAP 340点以上、\*各技能75点)を満たす者。

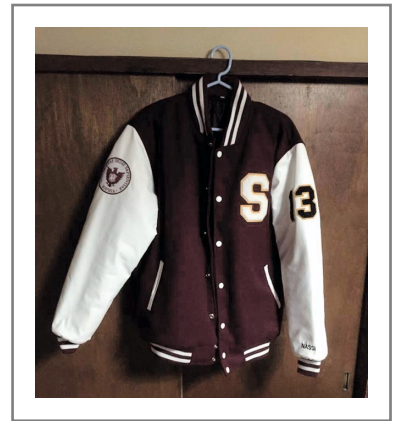
▽試験内容：①English Aptitude Test(essay writing)、②面接

## 自分の学びを考えるカリキュラム

国際教養学部は、自分が学びたいことを限定せずに約1年半の期間を過ごすこととなります。1年生～2年生後半までは、基礎科目群で英語での授業の受け方、レポートの書き方、ディスカッションの仕方などを学び、英語力を鍛えながら自分が本当に学びたいことを考えます。

## 充実した留学制度

留学制度も充実しており、交換留学における協定大学は他大学と比較しても多くあります。また、交換留学にはTOEFL Testスコアが必須ですが、後述の入試制度でも触れるように国際教養学部生は入学時点でスコアを所持しているため、希望すれば留学制度を最大限活用することができます。



### 2 書類選考入学

▽募集人数：[春入学(Ⅰ期・Ⅱ期計)]63名  
[秋入学(Ⅰ期・Ⅱ期計)]82名

▽出願時期：

[春入学Ⅰ期] Web出願・書類提出(9月初旬～9月末)、合否発表(11月初旬)

[春入学Ⅱ期] Web出願・書類提出(11月下旬～12月中旬)、合否発表(翌2月初旬)

[秋入学Ⅰ期] Web出願・書類提出(11月下旬～12月中旬)、合否発表(翌2月初旬)

[秋入学Ⅱ期] Web出願・書類提出(翌4月下旬～5月下旬)、合否発表(翌6月末)

▽選考方法：出願書類に基づき書類選考により合否を決定。

▽出願書類

①Application Formおよび出願理由を述べた500ワード程度の英文エッセイ

②高等学校の成績証明書および卒業(見込)証明書

③SAT Test・ACT・IB Diploma/取得見込証明書のいずれか

④TOEFL iBT TestまたはIELTSの公式スコア

⑤推薦状2通(最終出身学校の教員2名より1通ずつ)

●最新の入試情報は必ず大学のホームページでご確認ください。

# 国際教養大学

Akita International University



## Voice

### 塩田 澄子さん

国際教養学部2年生  
グローバルビジネス課程

#### 大学で暮らす

大学生生活のイメージが持てない皆さんも多いと思うので、典型的な1日を説明してもらえますか。

そうですね。まず皆が寮か学内アパートに住んでいて、私はロシアからの留学生と同じ部屋で暮らしています。7時くらいに起きて寮の食堂でご飯を食べます。その後、授業の事前課題のチェックや課題のビデオを見たりして9時から授業です。

昼に学食でご飯を食べて17時までまた授業。その後にサークル、それが22時くらいまで。22時過ぎから課題をやって、終わり次第寝るって感じです。けれど、終わらず徹夜で授業行くこともあるし、深夜1時くらいに寝られることもあるし、寝る時間はまちまちですね。

#### ■ 結構ハードですね。

そうですね。生活と勉強が直結しているというところはあるかも…。なぜって大学で暮らしているから(笑)。

その気になったら、大学から一歩も出なくても生きていけてしまう。サークルも学内で、移動とかの無駄

な時間がない。そうなる周りも一生懸命勉強しているから、こちらも頑張ることになりますね。

#### 必ず応えてくれる先生がいる

#### ■ どんな授業を受けましたか。

入学すると、まず最初にEnglish for Academic Purposes (EAP) といって、これから英語の授業を受けるための準備みたいなクラスを受けます。最初は英語力の向上に力を入れて、それが終わるとそれぞれ興味のある科目を取ることができるようになって、本格的に楽しいのはここからです。

私はミクロ経済をメインで取っていますが、本当に楽しいですよ。先生が授業の話以外のこと、ご自分がいま読んでる論文を見せてくれたり、興味のある海外のニュースについて話してくれたりしますし。あと、入ってきた瞬間に「今日なにやりましょうか」って感じで、そのときに出了たトピックでディスカッションする先生もいました。

先生のレベルが高くて熱意がある上に距離が近い。そしていろいろ先生がいるので「将来こんなことをやってみたい…」と思ったら、必ずど

こかに応えてくれる先生がいるっていう感じです。それと先生のもとでバイトしたりすることもできます。

■ AIUは学外との連携にも意欲的ですよね。

そうですね。たとえばお米を使った商品開発。お米農家の方を紹介してもらって、圧力だけで作るお米のクラッカーを作る。それと、外国人観光客が来たときに対応できる英語の説明書を作ってる人や、地元で採れる栗でジャムの商品開発してる人もいます。日本酒のプロジェクトもあるみたいです。

こういうのは数えはじめたらきりがありません。大学もそういう取り組みにはとても協力的で、企画が通れば経費を出してくれます。

#### やりたいことの集合体がAIU

■ すごいですね。

まあ、バラエティ豊かないろいろな子がたくさんいますから…。もしいま高校生で、なにかやりたいことがあるんだけど、それを話せる子が一人しかいないとしても、AIUなら20人見つかります(笑)。

そういう意味でもしAIUに来たいのなら、お手本ほくない方がいいと思う。自分だけのやりたいことがある子。そういう一人ひとりのバラバラなやりたいことが、一箇所に集まっているのがAIUだと思います。

■ 塩田さん自身はこれからどうしたいですか。

大学2年の終わりで留学するんですが、ポルトガルリスボンのビジネススクールで、貿易やファイナンスやインターナショナルマネジメントをやりまます。それと、直近の夢はその留学が終わってから外務省派遣員で中南米に行ってみたい。遠い夢は外務大臣になります(笑)。

# Information

大学情報

## 国際教養(Liberal Arts)を実践する

国際教養大学は、学術的な知識や理解を深め、自らの問題発見・解決能力を磨き、創造的な思考力を修得する国際教養教育を理念に掲げた大学です。国境を越えて多面的交流が進む今日の世界において、多様な世界観を持つ学生を望んでおり、英語によるコミュニケーション能力と専門知識を身につけた国際人の育成を目指しています。

## 全学生が海外へ

国際教養大学では、全学生に1年間の留学を課しています。世界各国の学生達とともに議論し、多様な文化や価値観に触れることで、世界の諸問題に対してチャレンジするきっかけを作っています。海外提携大学は46カ国・地域で約180の大学が用意されています。

## Data

入試情報

## 16種の入試制度

国際教養大学では、学力選抜試験のほか多彩な能力や資質を持つ学生を選抜する入試制度を含めて、16種類もの入試制度が用意されています。また、国公立大ではありますが他大から独立した入試日程を組んでいることで、受験機会を多く設けることが可能となっています。一般入試ではA・B・Cという3つの日程があり、AO入試・推薦入試・帰国生入試・ギャップイヤー入試など、大学独自の入試方式も含めた特別選抜入試が特徴的です。

(入試情報はすべて2017年度入試を参考にしています)。

### 1 一般入試(A・B・C日程)

▽募集人数：[A日程]40名・[B日程]50名・[C日程]15名  
 ▽出願/試験時期：  
 [A日程] 出願期間(1月上旬～下旬)・試験日(2月初旬)・合否発表(2月上旬)  
 [B日程] 出願期間(1月中旬～2月初旬)・試験日(2月中旬)・合否発表(2月下旬)  
 [C日程] 出願期間(2月中旬～3月初旬)・試験日(3月中旬)・合否発表(3月下旬)  
 ▽試験内容：  
 [A日程] ①大学入試センター試験(英語・国語・地理歴史/公民/数学)、②学力検査(英語・国語)  
 [B日程] ①大学入試センター試験(英語・国語・地理歴史/公民・数学・理科)、②学力検査(英語・国語)  
 [C日程] ①大学入試センター試験(英語)、②学力検査(英語)  
 \*英語資格の特例措置=TOEFL iBT Test 71点以上、TOEIC L&R Test 780点以上、IELTS 6.5以上、英検準1級のいずれかを満たしている場合は、受験する大学入試センター試験における英語科目が満点換算される。

## 徹底した英語環境

国際教養大学の大きな特徴の一つとして、すべての授業が英語で開講されていることがあげられます。入学後に必須となる英語集中プログラム(EAP)では、英語能力によるレベル分けが行われ、英語で学び、英語で考える能力を磨くことで、世界を舞台に自らの意見を発信し行動する力を身につけていきます。また1クラスあたり18名程度の受講者で、徹底して少人数制も守られています。そのため、よりコミュニケーションの機会を増やせる環境でもあります。

## 多文化共生のキャンパス

キャンパス内では、5人に1人が留学生(約200名)という環境で一緒に学ぶこととなります。授業はもちろん寮や学生宿舎での生活や、スポーツ・文化活動でも交流が可能です。さらに、24時間利用可能な図書館では日々学生たちが自分の学びを深めています。

### 2 AO入試(4月入学・9月入学)

▽募集人数：[4月入学]15名・[9月入学]10名  
 ▽出願/試験時期：  
 [4月入学] 出願期間(10月下旬～11月初旬)・試験日(11月下旬)・合否発表(12月初旬)  
 [9月入学] 出願期間(7月初旬～中旬)・試験日(8月初旬)・合否発表(8月初旬)  
 ▽出願条件：英語資格\*一部抜粋(TOEFL iBT Test 61点以上、TOEIC L&R Test 700点以上、IELTS 6.0以上、英検準1級のいずれかを満たしている場合)  
 ▽試験内容：  
 [4月入学] ①志望理由書など出願書類、②英語小論文、③面接  
 [9月入学] ①英語小論文、②面接

### 3 推薦入試

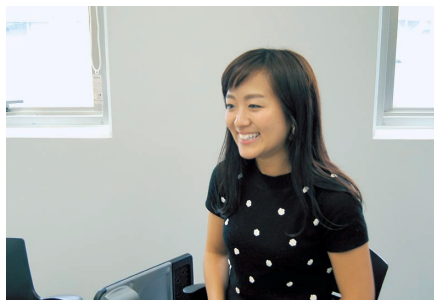
▽募集人数：20名  
 ▽出願/試験時期：出願期間(10月下旬～11月初旬)・試験日(11月下旬)・合否発表(12月初旬)  
 ▽出願条件：①学校成績(評定平均4.0以上)・②英語資格\*一部抜粋(TOEFL iBT Test 45点以上、TOEIC L&R Test 550点以上、IELTS 5.0以上、英検2級のいずれかを満たしている場合)または学業やスポーツ・文化活動などの分野で実績がある者  
 ▽試験内容：①志望理由書など出願書類、②英語小論文、③面接

### 4 帰国生入試

▽募集人数：若干名  
 ▽出願/試験時期：出願期間(7月初旬～中旬)・試験日(8月初旬)・合否発表(8月初旬)  
 ▽出願資格：①海外教育機関における成績証明書など、②英語資格\*一部抜粋(TOEFL iBT Test 61点以上、TOEIC L&R Test 700点以上、IELTS 6.0以上、英検準1級のいずれかを満たしている場合)  
 ▽試験内容：①英語小論文、②面接  
 ●最新の入試情報は必ず大学のホームページでご確認ください。

# 関西学院大学 国際学部

School of International Studies



## Voice

### 家田 日紗子さん

国際学部国際学科  
4年生

#### 学びと留学のカスタマイズ

家田さんは4年生で就職も決まっているんですよ。

お陰さまで大手メーカーに決まりました。あとは卒論だけで、卒業旅行を楽しみに頑張っています。

では入学から振り返ってほしいのですが、まずどんな授業を受けるんですか。

すぐに英語の必修授業が始まります。少人数制で15人くらいですね。レベル別にいくつかのクラスに分かれていて、内容はリーディング、リスニング、スピーキングなどです。授業の中にはTOEFL TestやTOEIC Testの高いスコアを取っていれば単位認定されるものもあります。

■ 他はどんなことを学んでいますか。

3つの学問領域があって、その中からさまざまなジャンルを網羅して勉強します。ガバナンス、宗教、地域文化、経済経営など、多岐に渡って勉強しつつ英語を重点的に学べる。

すべての授業が英語で行われるわけじゃないですよ。英語で行われている授業ばかり受けることもできるけど、日本語での授業も受けることができます。

■ 自分で選べるということですか。

そうです。帰国系の子なんかは全部英語の授業で固めてますし、専門知識をより深めたいからということで日本語の授業主体の子もいます。英語での授業は興味あるけれど、徐々に増やしていきたいなといった子にもきちんと対応できます。だから、学びをカスタマイズできるということが魅力です

■ 海外への留学は必須ですよ。

留学プログラムは、国際学部独自のプログラムと学内の留学サポート組織のものがあって、そこから自由に選べます。奨学金も取れますし、国は世界中から選べますね。留学期間も最短で1カ月、最長で1年間と自由に決められます。だから留学も自由にカスタマイズできると言えます。

留学だけでなく海外インターンシップも利用できて、これも単位認定に含まれるんです。私は海外インターンシップに行きました。

#### カナダでのインターンシップ

■ どんなことをしたんですか。

カナダのクイーンズ大学で、最初の1カ月はビジネス英語を学んで、残り3カ月は日本でいうハローワークみたいところで働きました。日本ではできない体験でした。大学では電話対応やレジメ作成を学べたし、職場では頑張って他の従業員とコミュニケーション取って、仲良くなれるよう努力しました。そうやって毎日働いていくことで、内面を鍛えることができたと思います。

■ この学部にして良かったですか。

良かったですね。この学部はどうすれば学生たちが勉強しやすい環境が作れるか、真剣に考えてくれていると思います。そこが何事もカスタマイズできる制度につながっているし、大学と生徒、教授と生徒の距離の近さにもなっていると思います。

この学部は、自分がなにをやりたいか手さぐりで探しながら成長していける。私はインフラの海外営業をやりたいと思っているんですが、それもゼミで国際社会における人の移動について学んだことと、海外でインターンシップを経験できたことで形成されたものだと思っています。

■ 最後に高校生の皆さんにメッセージをお願いします。

就職活動中に、企業が国際体験を持っている人材を高く評価してくれることを実感しました。ここでやってきたことは間違っていないと思います。ですからいま、高校生の皆さんが国際系大学や国際系学部への志望を持っているならば、絶対にそれを捨てないでください。